

(地Ⅲ98F)

平成28年8月10日

都道府県医師会

感染症危機管理担当理事 殿

日本医師会感染症危機管理対策室長

釜 菔 敏

2016年度の季節性インフルエンザワクチンについて

厚生労働省通知「季節性インフルエンザワクチンの供給について」は、平成28年8月9日付（地Ⅲ97F）をもって貴会宛お送りいたしました。

今シーズン製造される季節性インフルエンザワクチンについては、本年4月に発生した熊本地震によりワクチン製造会社が被災したことから、供給必要量を確保するため、製品の種類を限定して生産することとして、各メーカーとも1ml 製剤のみ生産する（0.5 ml 製剤は製造しない）ことが販売元からの聴取により判明しましたので情報提供いたします。

今後予測される事態の打開に向けて、本会と販売元において協議を行いましたが、震災の影響によるもので如何ともしがたく、各医療機関においては、予約制等のご対応をしていただかざるを得ない状況にあります。

また、1ml 製剤のみを生産することは同時にシリンジ製剤の供給をせず、防腐剤（チメロサル）を含有しない製品の供給がないこととなります。

この件については、公益社団法人日本産科婦人科学会から、別添のとおり「お知らせ」がなされておりますので併せて情報提供いたします。

本件について、何卒ご理解、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

つきましては、貴会におかれましても、本件についてご了知いただき、管下郡市区医師会、関係医療機関等への周知協力方について、ご高配のほどよろしくお願い申し上げます。

[日本産科婦人科学会について](#)[声明](#)[倫理に関する見解](#)[学会活動について](#)[一般のみなさまへ](#)[医学生・研修医のみなさまへ](#)[入会案内](#)[関連リンク集](#)

公益社団法人日本産科婦人科学会

事務局

東京都中央区京橋3丁目6-18

東京建物京橋ビル 4階

TEL: 03-5524-6900

FAX: 03-5524-6911

[Home](#) > お知らせ(チメロサルフリー製剤の生産中止に伴う 今シーズンのインフルエンザワクチン接種について)

お知らせ

チメロサルフリー製剤の生産中止に伴う 今シーズンのインフルエンザワクチン接種について

会員各位

妊婦のインフルエンザ罹患による重篤化を予防するためにインフルエンザワクチン接種にこれまで御尽力頂きありがとうございます。妊婦へのワクチンによる母子への感染予防効果と安全性は国内外の研究で報告されています。

我が国のインフルエンザワクチンは防腐剤であるチメロサル(エチル水銀チオサリチル酸ナトリウム)を含有するワクチンと含有していないワクチンの2種類があります。0.5ml製剤は一人用のために防腐剤は必要としませんが、二人用の1ml製剤には防腐剤が必要となります。しかし、今年度のインフルエンザワクチンはチメロサル含有のみとなります。これは、本年4月に発生した熊本地震により、熊本のワクチン製造企業において複数の建物および設備に被害が生じ、一定期間生産を中止したことなどから、今年度のインフルエンザワクチンの十分な供給が危ぶまれたため、他のメーカーは1ml製剤に統一生産量を増産することにしたためです。0.5ml製剤よりロスが少ない1ml製剤を選択することでより多くのワクチンを生産することになりました。

チメロサルが有機水銀であるために、妊婦はチメロサルフリーを選択する傾向がありました。しかし、産婦人科診療ガイドライン産科編2014 CQ102の解説には、「チメロサルを含んでいる製剤もその濃度は0.004~0.008mg/mlと極少量であり、胎児への影響はないとされている。懸念されていた自閉症との関連は最近否定された。したがって、エチル水銀(チメロサル)含有ワクチンを妊婦に投与しても差し支えない。利用できる状況にあり、かつ妊婦が希望する場合にはチメロサルを含有していない製剤を接種するが、利用できない状況下(チメロサルを含有していない製剤入手まで時間がかかる)であり、かつ周囲でインフルエンザの流行がある場合にはエチル水銀(チメロサル)含有ワクチン接種を躊躇しない。」と記載されています。本年度も妊婦へのインフルエンザワクチンの接種をお願いします。

2016年8月1日

公益社団法人 日本産科婦人科学会
理事長 藤井 知行
周産期委員会委員長 竹田 省

[このページのトップへ](#)[サイトマップ](#)[このサイトについて](#)